

令和2年度事業報告書

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日

社会福祉法人 こぼと会

あおぞら保育園

乳児保育

子どもの主体性をはぐくむための育児行為の徹底を目標に取り組んだ。そのうえで環境評価スケールは大人がウェアの配慮点について細かいに評価できることが改めて分かり、職員の資質向上、つまり課題点や評価できる点の自己認知にとっても役立つものであった。

4月からの緊急事態宣言に伴い子どもたちの登所が6月を過ぎてから本格的になったことを鑑みても、職員の一致団結の力が例年と違う状況に際しても大きな効果を及ぼし、0歳を始め、いつも以上に子どもたちの主体的な活動が多くみられた。

幼児保育

乳児同様主体性をキーワードにした一年であったが、コロナ禍の影響を色濃く受けたのが特に行事であった。ほとんどの行事を中止にする選択の中、子どもたちが楽しめる内容を職員が良く考え出してくれた。特に年長児のお泊り会は時期を9月、内容を園舎内に大幅にリニューアル。全職員の協力を得て、盛大に子どもの一生の思い出に残る模様氏ものにする事ができた。

日常の中には、環境評価スケールを各クラス初めて導入し、それぞれのクラス、職員の課題の明確化を行う。客観的な評価支店が入ることにより、「保育に対する共通課題が見えた一年であった

地域向け事業

① 一時保育

今年度はコロナ禍の中一年を通して需要の急激な落ち込みに苛まれる年となった。職員、パートと隔てせず、環境整備や他クラスの応援に積極的に対応してくれた事は大いに評価できる内容である。来年度以降の状況により難しい課題に直面しながらも大切な職員を守るための努力をしていかななくてはならない

研修・講習

多摩市保育協議会が設立され積極的な参加をしながら研修効果を高めるよう意図した。職場内でも、学童を含めた毎月の研修を行うことにより、0歳から9歳という発達の筋道を見据えた共通理解を結べる努力をした。

	研修名
職場研修	職場内研修 ・理事長研修毎月 ・コンサルリーダー研修（講師：深代氏）
	島田療育センター作業療法士研修 年6回
講師派遣	無
職員派遣	多摩市保育協議会研修 （主任保育士会、栄養士会、看護。保健師会、障害児会）

(ロ)延長保育契約数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1時間	23	25	25	29	30	30	28	28	27	27	26	26	324
2時間	7	7	7	7	7	6	6	9	9	9	11	11	96
	30	32	32	36	37	36	34	37	36	36	37	37	420

(ハ)しょうがい児数及び名簿

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2歳女児	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
3歳男児	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
4歳女児	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
5歳男児	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
5歳男児	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5

(二)一時保育

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
半日	56	37	40	9	15	23	39	25	34	28	37	54	397
一日	192	139	131	54	103	69	106	117	120	84	81	120	1316
	248	176	171	63	118	92	145	142	154	112	118	174	1713

定期利用

定期 3日	8	8	8	7	5	5	8	7	7	9	9	8	89
定期 4日	2	2	2	3	5	5	3	3	3	3	3	4	38
定期 5日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	3	7

(ホ)保健管理

4月 ギョウチュウ検査

6月 歯科検診

二期 視力検査

毎月 健康診断(園医 江崎宗憲医師)

毎月 身体測定

毎月 布団乾燥

(ト)安全管理

毎月 避難訓練

(チ)保護者会

4月 9月 2月

(リ)一日体験入園

中止

(ヌ)行事

4月	入園式、保護者会	11月	芋ほり(中止)
5月	遠足(中止)	12月	子ども会
6月	歯科検診		
7月	プール開き	1月	新年子ども会
	夕涼み会(中止)		
	お泊り会	2月	
9月	防災引渡訓練		保護者会(各クラスのみ)
	保護者会		
10月		3月	ひな祭り
	運動会(園内)		お別れ遠足
	遠足		卒園式
			進級

毎月の行事

誕生会・アート指導・お茶の稽古・

(3) 職員の待遇

(イ) 健康管理

- ・健康診断 (田村クリニック)
- ・検便 給食担当者、O才担任・・・毎月2回
全職員 検便・・・4月、10月

(ロ) 労務管理

- ・社会保険に加入
- ・退職金(福祉医療機構・東京都社会福祉協議会に加入)

(ハ) 待遇

- ・就業規則により処遇

(ニ) 福利厚生

- 職員検診、細菌検査など
- 歓迎会、送迎会等の食費補助等

(ホ) 職員の動き

- ・採用 角野 希志子 中山 さやか
- ・育児 上川原 香菜 岡本 実梨

(ヘ) 固定資産購入

固定資産取得費					
小計		0		小計	0
合計					0

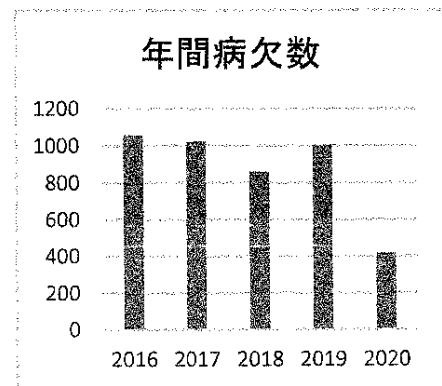
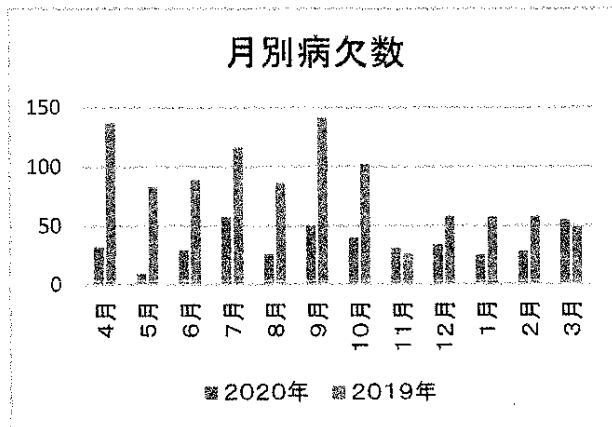
保健考察

病欠状況

今年度は新型コロナウイルスの影響が大きく、年間416名と例年に比べて半数程度に病欠数が減っている。多摩市から登園自粛の要請が出た4～6月は登園児童数が3割程度に減っていたことで特に6月までの病欠数が少なくなっているが7月以降も大きく増える事なく経過した。

感染症に関しても、例年流行する夏風邪(手足口病・ヘルパンギーナ)の発症は1名のみ、インフルエンザ発症は1名もいなかった。感染症の減少は新型コロナウイルスに対する様々な対策(下記参照)の効果がと思われる。

風邪症状や胃腸症状で欠席する園児はいたが、全体的に軽症で年間を通して健康に過ごすことができた。



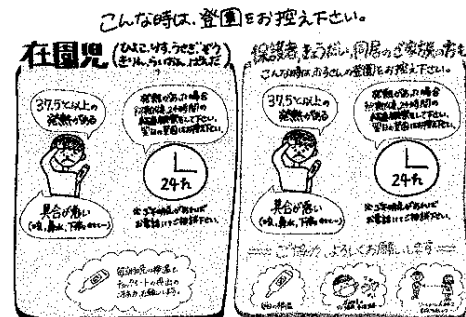
感染予防

新型コロナウイルスの感染予防のため、今年度は様々な対策を行った。

- ・園児と職員の健康管理のため、毎日の健康観察チェックシートを記入
- ・本人や同居家族の体調不良時(検温37.5℃以上など)は登園を控える
- ・発熱時保護者へ連絡する基準を38℃から37.5℃以上に変更
- ・園児の個別タオルを使い捨てペーパータオルに変更
- ・歯科検診時、歯鏡などの器具を使い捨てのものに変更
- ・幼児クラスの食事時、パーテーション設置
- ・職員の不織布マスク着用
- ・光触媒ラーフエイドの施工

今年度は園児、職員に新型コロナウイルスの発症なく過ごすことが出来た。

今後も感染対策には最大限の注意を払い子ども達が元気に過ごすことができるよう努めていく。



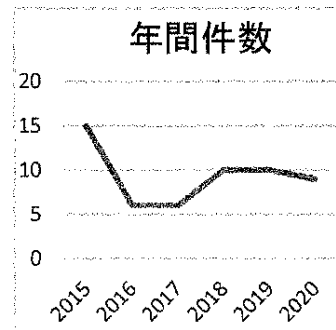
事故報告

事故報告は9件あり、例年と特に変わらない件数だった。

内容としては、肘内症による医療機関受診が一番多くなっている。

ただ、以前に起きていたような保育者が児の腕を引っ張って肘が外れてしまった事例は1件もなく、すべて本人がバランスをくずして手をついたなどの理由となっており保育者の子どもへの対応は丁寧に行う事ができていると思われる。

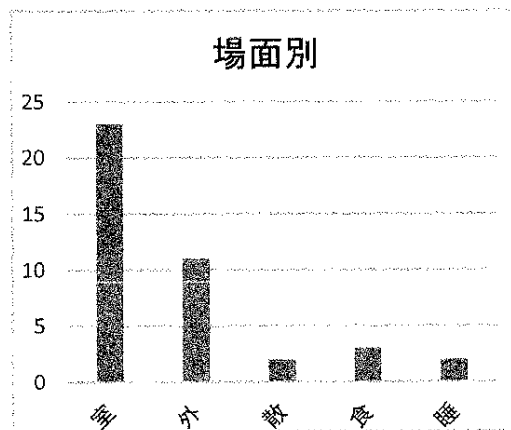
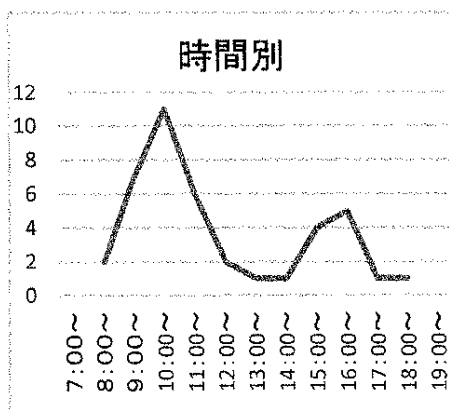
誤配食に関しては卵アレルギー児に普通食を提供した事故である。卵のっていない献立だったため、アレルギー症状の出現は無かったが、命に関わる事例のため最大限の注意を続けていく必要性を話し合った。



事故内容	件数
肘内障	5
歯の外傷	2
顔の外傷	1
誤配食	1

過去5年間の事故報告をまとめてみたところ、事故の起きやすい場面や時間帯がわかった。

場面別では外遊びより、倍以上室内遊び中の事故が多いことは少し意外だったが、室内での玩具選びや環境設定は事故防止の大きな要因になる事がわかった。安全衛生委員会でも話し合いをして今後の事故防止に役立てる事ができた。



給食活動

献立

一汁二菜の和食系の献立を中心にした。

主食は乳児は白米・幼児は7分つき米にしている。

副菜は和え物など野菜が多めだが、子ども達は良く食べており、毎日の残食量は今年度もかなり少なかった。子どもから「今日の給食おいしかったよ」といわれる事も多く励みになっている。

下膳時に、子ども達の食べ具合などをクラスから伝えてもらうようにしているので食べ易さなど改善され、残菜の少なさにつながっていると思う。

今年度も新しいメニューや季節の食材を意識して取り入れるなどを心がけた。

行事食・年長さんからのリクエストメニュー・レストラン給食は好評であった。

お泊り会のあおぞらレストランは、子どもたちも大変喜んでくれた。

継続する。今年度も引き続き、年長さんが毎月の誕生会メニューを順番で決めた。

張り切って話し合いながら、楽しいメニューができています。

献立表は毎月各家庭に配布している。アレルギー児にも個別対応したものを配布している。

献立にはないが、農園へ出かけたり、特別の散歩の時など、お菓子を用意した。

本年度からクックパッドのブログ、インスタグラムを活用して情報配信を増加

調理

誕生会のケーキカットは、今年度も引き続き行い、1年に1回の自分の誕生月を子どもたちは楽しみにしてくれた。

乳児に必要なに応じて、離乳食を提供するなど個別対応した。下痢や口腔疾患なども個別に対応した。担任の判断によるが、朝食を摂ってこなかった子どもに牛乳やヨーグルト等の軽食を提供した。今年度も、国産で出来るだけ安心な食材を使うように心がけた。

衛生

今年度から新型コロナウイルスが猛威を振るっていることもあり、例年以上に徹底した手洗い・健康管理はもちろん、衛生管理がきちんと行われるようにチェック表を活用した。

食育

前年度の評価・反省をふまえた年間食育計画をたてたが感染リスクを避け活動自粛した。ペーパースーツ(種に水を掛け太陽を浴びて野菜が生える仕組みをかわいいイラストで伝える。葉っぱでなんの野菜かわかる子もいた。期間を開けて同じ内容をやった後、本物の野菜でクイズを行った。

アレルギー

卵・牛製品のアレルギー食を

提供した。お家の方からも、子どもが美味しいと言って喜んでいと言われていると励みになっている。

会議

月1回給食会議を開き、献立の検討・食育の取り組み・クラスとの連絡等話し合うことで、クラスと給食室との連携をとっている。

0才クラスとは、月一回連絡会を持ち、子ども一人ひとりの離乳食の進め方について話し合っている。

防災対策

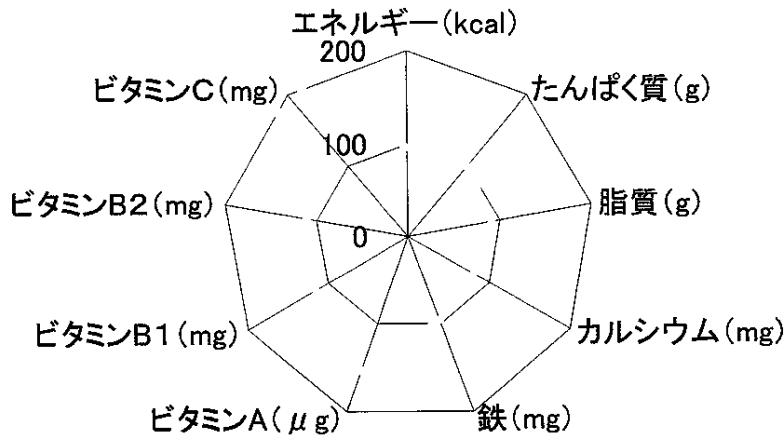
非常食は、子どもと職員の分を3日分用意している。

非常食で必要なもの、多めに買っておいたほうが良いもの等、器具や道具など揃えたり具体的にする。

栄養管理報告

3歳以上児	給与栄養 目標量	R2.4~R3.3平均 充足率(%)
エネルギー(kcal)	576	97
たんぱく質(g)	21.6	99
脂質(g)	17.9	91
カルシウム(mg)	261	80
鉄(mg)	2.5	96
ビタミンA(μg)	202	154
ビタミンB ₁ (mg)	0.31	116
ビタミンB ₂ (mg)	0.36	111
ビタミンC(mg)	20	235

炭水化物エネルギー比(%)	55	59
脂肪エネルギー比(%)	30	26



給与栄養目標に対する充足率(%)

- ・カルシウムと脂質と鉄が不足したが、おおむねバランスよく摂取できた。
- ・おやつに牛乳をつけないときは、牛乳の代わりにチーズや煮干しを足し、昼食のフルーツをヨーグルトに変更してカルシウムを補うようにした。以前よりヨーグルトの日を増やした。
- ・クラスでは、子どもの食欲、体調により食べる量を大人が調整しているので、数字はあくまでも平均値である。
- ・野菜類を多く取り入れているため、ビタミン類が多くなっている。ビタミンCは過剰症もなく身体に滞在する時間が短いものなので十分に摂取できていることは子どもの為に大事なことから継続する。
- ・炭水化物エネルギー比、脂肪エネルギー比は、適正であり、三大栄養素(炭水化物・たんぱく質・脂質)のバランスはとれている。